

## 祝 阿部和夫氏 旭日双光章受賞記念祝賀会



令和6年春の叙勲において、旭日双光章を受章された阿部和夫氏を囲んでの祝賀会が9月23日（月・祝）に山形グランドホテルを会場に開催された。受章者の阿部氏をはじめ、来賓として、山形県歯科医師会より土門宏樹会長、山形県歯科衛生士会より佐藤奈美会長、群馬県歯科技工士会より金井孝行会長、他19名の出席があった。

来賓や出席者の方々からは、山形県歯科技工士会事務所を歯科医師会館に移転する際に尽力して頂いた事、新しい技術を積極的に取り入れて技工士会の中でも普及啓発し、研修会などでレベルアップを図って下さった事、会の為に一生懸命に尽くし、日技に於いても県技工士会の為に地方の意見を述べて下さっていた事など、阿部氏の技工士会に対する愛情と、愛される親しみやすい人間性などをエピソードを加えながら語られた。

阿部氏からは、「この叙勲を自分なんかがお受けしていいのだろうか？と思って自問自答を繰り返していたが、伝達式の時に同じく受章された歯科医師会のお二方とお会いして、技工士会も歯科医師会と肩を並べて受章する事が出来るんだなと思った時に、お受けして本当に良かった、会の代表として受章出来たという事に本当に嬉しく思った。」と挨拶された。

祝宴は阿部さんの人柄を表すような明るく、賑やかな雰囲気であった。



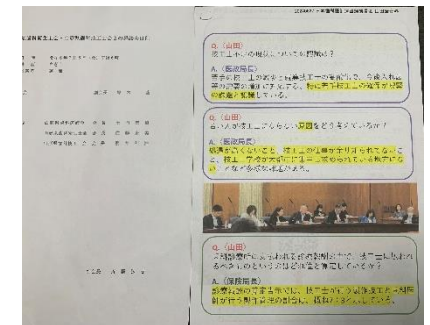
# 《山形県歯科三団体懇談会》

花等きよこ（山形県歯科技工士会副会長）

7月5日（金）午後6時より「白ぎく」に於いて開催された。

鈴木基山形県歯科医師会副会長が開会の挨拶、そして土門宏樹山形県歯科医師会会長より「本年も三歯会の交流が開催出来、嬉しく思う。」との挨拶。早坂暢洋山形県歯科医師会専務理事の進行で、佐藤奈美山形県歯科衛生士会会長、櫻井利浩山形県歯科技工士会会長の挨拶となり、懇談会に入った。自己紹介もあり、永田和樹常務理事（山形県歯科専門学校副校長）、鎌水麻里（山形県歯科衛生士会副会長）も出席、本会からは太田春彦副会長、花等きよこ副会長、計10名が出席した。

土門宏樹歯科医師会会長より、「経済財政運営と改革の基本方針2024、閣議決定、全身の健康と口腔の健康に関する国民への適切な情報提供、生涯を通じた検診に向けた具体的な取組推進、歯科専17職による口腔健康管理の充実、歯科医療機関・医歯薬連携を始め、歯科衛生士・歯科技工士等の人材確保の必要性を踏まえた対応、歯科保健医療提供体制の構築強化に取り組む。」旨のお話があった。



## 歯科保健功労者表彰

第26回山形県歯科保健大会に於いて

平泉 力氏

が歯科保健功労者表彰を受けられました  
おめでとうございます！



その後、櫻井利浩会長より歯科医師会の先生方への要望、「この場をお借りして、物価高騰の中6月からの歯科診療報酬改定を踏まえ、歯科技工士の賃上げ、所得向上をお願いしたい。社会状況を理解して頂き、迅速な対応をお願いしたい。」土門歯科医師会会長より、「社会の課題を踏まえて、迅速な対応を取り、賃上げ、所得向上に繋げていきたい。」と受けて頂いた。又、資料には歯科衛生士、歯科技工士の免許登録者数、就業者数推移（H12~R4）等があった。歯科会の現状を改めて考えることが出来た。

和やかな中にも活発な意見交流が行われた。斎藤弘志山形県歯科医師会副会長が閉会した。懇談会が盛り上がり、二次会へと流れて行った。



## 『東北ブロック歯科技工士協議会 秋田周年大会』

太田春彦（山形県歯科技工士会副会長）

去る10月12、13日 秋田市 ANA クラウンプラザホテル秋田を主会場に東北ブロック歯科技工士協議会秋田周年大会が開催されました。周年大会にふさわしくブロック会議と学術担当会議、北東北野球大会、表彰式と懇親会、学術講演会（13日）と充実した内容でした。

本県からは櫻井会長、伊藤専務理事、伊集院相談役、と副会長太田の4人が参加してまいりました。当日は穏やかな天気にも恵まれ、伊藤専務の安全運転のもと会議内容の打ち合わせにも時間を有効活用しながら順調な道行となりました。



ブロック会議は、ややもすると結論が出尽くした感のある議題とその応答に冗長な印象は否めないものでしたが 本県、伊集院相談役の昨年、一昨年に続く発言で我々の今後目指すべき方向と具体策が示され決して立ち行かない八方塞がりな状況ではないことの認識が共有されたと感じました。

一方、学術担当会議は共通の課題、悩みに焦点が定まり活発な議論がなされたとうかがいました。

ブロック会議の最後は新体制となる日技の副会長、山下茂子さんから「今後の展望と活動報告」が熱くも快活に発表され、昨年の山形大会を受けて櫻井会長が代議員会でなされた提言についても返答がありました。

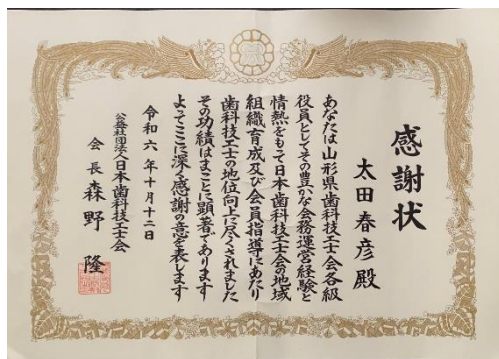
伊藤専務と私は秋田に心を残しながらやむなくの当日帰形となりましたが櫻井会長、伊集院相談役は表彰式、懇親会に臨まれ無事に日程を終了いたしました。

日技感謝状受章

太田春彦氏

東北ブロック長表彰

伊集院正俊氏



## メーカーズフェスタ2024 de 米沢

米沢で行われた未来のものづくり・クリエイター達が作品や成果を発表・展示し、ものづくり技術のさらなる向上と人的ネットワークの形成、新機軸の創造に資することを目的とした「メーカーズフェスタ2024 1de 米沢」に置賜地区の会員の竹田友季子さんがエピテーゼの作品を出品されましたので、インタビューさせていただきました。

Q. メーカーズフェスタに出品されたきっかけは？

A. 参加者募集のチラシを見て担当の方に連絡しました。

Q. エピテーゼの装置を作るきっかけは？

A. 昔から興味があり、いつか作れるようになりたいと思っていました。

Q. エピテーゼは仕事としてやられているんですか？

A. まったく趣味でやっています。



Q. 実際に患者さんに装着されるものですか？

A. サンプルとしてつくっています。

Q. 患者さんと直接接することはあるんですか？

A. まだ無いです

Q. 技術や材料の知識はどこで勉強されているんですか？

A. 群馬に本格的にやっぴらっしゃる女性の技工士さんの所に行って勉強しています。色々なご縁があり、先生に出会えて本当に良かったと思っています。

Q. 歯科技工で使う技術や材料は使用するんですか？

A. 主にシリコンを使うので、材料的には全く違いますが、技術的には義歯を作るときのイメージと似ています。

Q. 作品を制作する時に難しい所や苦勞した点は？

A. まだまだ始めたばかりで、全ての工程が難しいなと感じます。特に色を合わせていくのは難しいですが、楽しみでもあります。

Q. 義手・義足は装具士の資格が必要と思いますが、エピテーゼは？

A. 装具士さんが作る実際使う歩けるといふものとは違つて、見た目を補うものなので特に資格は無いです。

Q. エピテーゼは歯科医院で作っているんですか？

A. 設備が揃っている訳でもなく、自宅で作っています。

Q. 今回出品してみても感じたことは？

A. 興味をもつて話を聞いて下さる方がとても多かつたです。「絶対

必要な技術だよ。頑張つてね！」  
など、あたたかい言葉をたくさん頂きました。

Q. 今後、エピテーゼについてどのようにしていきたいですか？

A. 少しずつ、沢山の方に知つて戴き、必要として下さる方に届けられるようにがんばつていきたいと思っています。



## 歯科技工所台帳一覧

歯科技工士法 21 条第一項の規定に基づき山形県保健所に開設

届出がなされた歯科技工所一覧が閲覧出来るようになりました。

山形県のホームページから歯科技工所で検索すると確認出来ます。